

「ディープテックベンチャーへの民間融資に対する債務保証制度」 を活用した当行初の融資契約の締結について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち}半沢 淳一、以下 当行）は、今般、SYNQA株式会社^[1]（以下 SYNQA）との間で、「ディープテックベンチャー^[2]への民間融資に対する債務保証制度」（以下 本制度）を利用した実行可能期間付タームローン契約（以下 本契約）を締結致しました。

本制度は、経済産業省に事業活動計画を認定されたディープテックベンチャー企業が、経済産業大臣に認定された民間金融機関から融資を受ける際に、独立行政法人中小企業基盤整備機構の債務保証制度を利用できるものです。経済産業省は2021年8月より本制度の運用を開始しており、本契約は本制度を活用した当行初の取り組みとなります。本契約においては、限度額上限の25億円（借入元本の50%）の債務保証を受けております。

SYNQAは日本および東南アジアにおいて、キャッシュレス政策に見合う次世代決済インフラサービスの開発および提供を進め、経済エコシステム全体のデジタルトランスフォーメーションの促進とプラットフォーム構築に取り組んでいます。本契約での資金支援に加え、当行が出資するMars Growth Capital Pte. Ltd^[3]も、SYNQA Pte. Ltd.^[4]に対して融資枠を設定しており、当行はグローバルベースで資金支援を行っております。

【本契約の概要】

融資形態	実行可能期間付タームローン
契約締結日	2022年5月9日
借入限度額	50億円
資金使途	開発資金、事業資金

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下 MUFJ）では、自社のパーパス「世界が進むチカラになる。」を起点に、持続可能な環境・社会の実現に向けて優先的に取り組む10の課題を特定しており、「産業育成・イノベーション支援」を重点領域として位置づけています。MUFJは、引続きグループ一体で成長企業領域の持続的な成長を支援し、産業の更なる発展・拡大に貢献してまいります。

[1] SYNQAの詳細については、以下のリンクをご参照ください。

<https://www.opn.ooo/>

[2] 大規模研究開発が必要なベンチャー。一般的に、事業化・収益化までの期間が長く、且つ必要資金が大規模となることが多い。

[3] Mars Growth Capital Pte. Ltdの詳細については、以下のリンクをご参照ください。

<https://www.marsgrowth.com/>

[4] SYNQAの連結子会社であるシンガポール現地法人。